

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第15週（4月11日～4月17日）

★お知らせ

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第14週の5.33から第15週では4.53とほぼ横ばいですが、須崎、中央西で増加し、須崎では注意報値を超えています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルスが25例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が12例報告されるなど、ロタウイルスの報告が多くなっています。

病原体検出情報では、Rotavirus group A G2 2例、Norovirus GII NT 1例、Sapovirus genogroup unknown 1例が検出されています。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、免疫のない小児では6か月～2歳くらいまでに必ずと言っていいほど経験する病気です。水のような多量の下痢便が特徴で、便の色も白っぽくなることから、白色便性下痢とも言われます。また、激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症とも呼ばれています。合併症としては、脱水症があり、脱水の程度や臨床的重症度は、他のウイルス性胃腸炎より重度となることがあります。

患者の便やおう吐物の処理をするときは、撒き散らさないよう十分注意をするとともに処理後は十分手洗いをしましょう。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬ではあまり効き目がありません。

ロタウイルスのワクチンを任意で接種を受けることができます。詳細については、かかりつけの医療機関にご相談ください。

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は、第14週の10.79から第15週では5.25と急減していますが、安芸では増加しています。高知県全域と全保健所管内で注意報値の10.00は切りましたが、引き続き注意が必要です。迅速検査ではインフルエンザA型10%、B型90%となっています。

病原体検出情報では、Influenza virus A H1pdm09 1例、Influenza virus B/Yamagata 3例が検出されています。

今後も、手洗い、咳エチケットに心がけて下さい。普段から咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等が大切です。十分な休養、バランスの良い食事をとり体力や抵抗力を高めましょう。

また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

※厚生労働省インフルエンザ 総合対策（外部サイトへリンク）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第14週の1.30から第15週では2.73と急増しています。須崎以外で増加しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、例年、春から初夏に報告数が増えることが多く、過去2年間と比較してやや高い数値となっており、今後の動向に注意が必要です。

この病気は、高熱・咽頭痛・おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌・全身に発赤が広がる猩紅熱といわれる全身症状を呈します。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くあります。うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○ダニが媒介する感染症に気を付けて！

15週は、日本紅斑熱の報告がありました。

野山に生息するマダニに刺されることで感染症（日本紅斑熱、SFTS等）を起こすことがあります。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。マダニは、春から秋にかけて活動が盛んで、多くの発生が見られます。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

- ・長袖、長ズボンを着用し、できるだけ肌を露出しない。
- ・地面には直接寝転んだり、腰を下ろしたりせず、敷物を敷きましょう。
- ・DEET（ディート）などの有効成分が含まれた虫除け剤を使用しましょう。（説明書の注意事項に従って使用してください。）
- ・野外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認しましょう。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

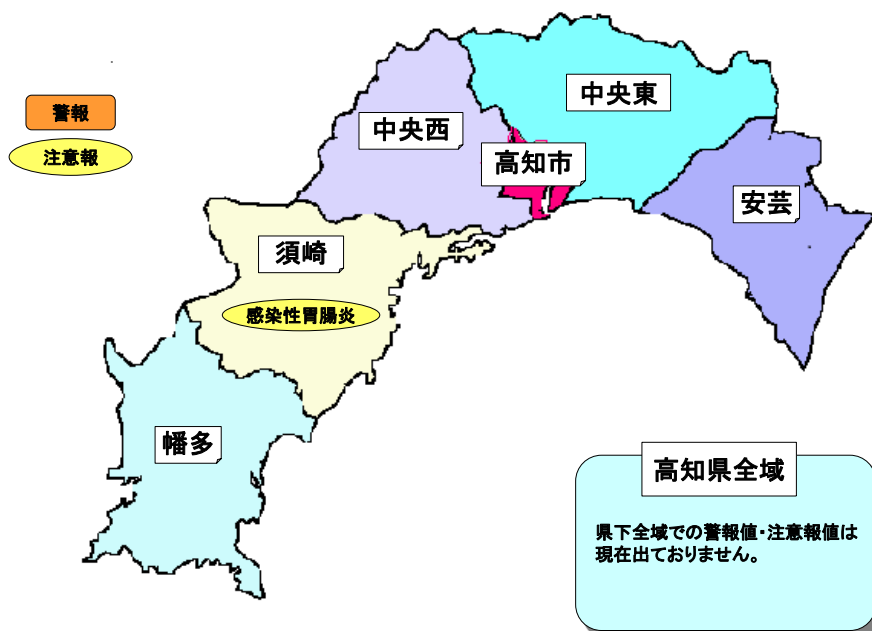
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
15週（4月11日～4月17日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↓	5. 2 5	安芸で増加しています。
感染性胃腸炎	→	4. 5 3	須崎、中央西で増加し、須崎では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2. 7 3	須崎以外で増加しています
RSウイルス感染症	↗	0. 9 7	幡多、高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎	↗	0. 4 7	高知市、中央東で増加しています。

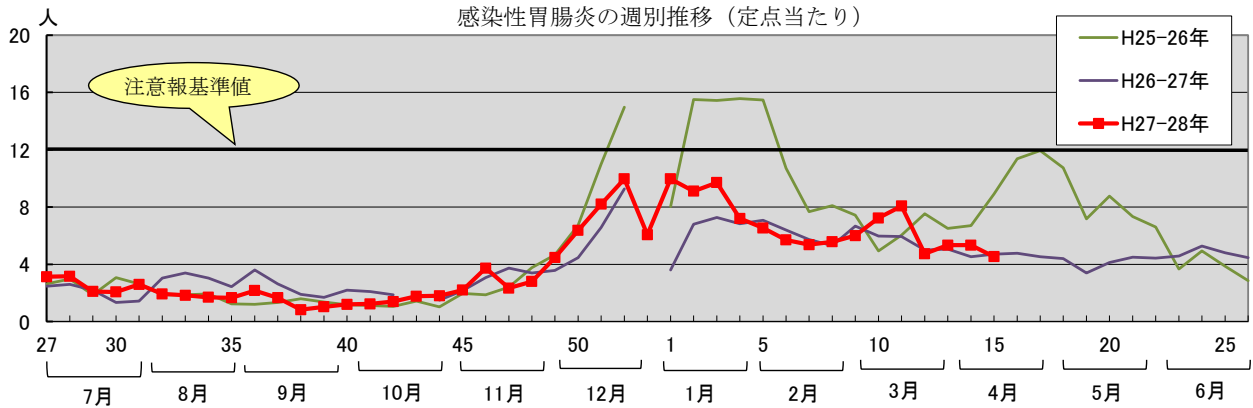
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

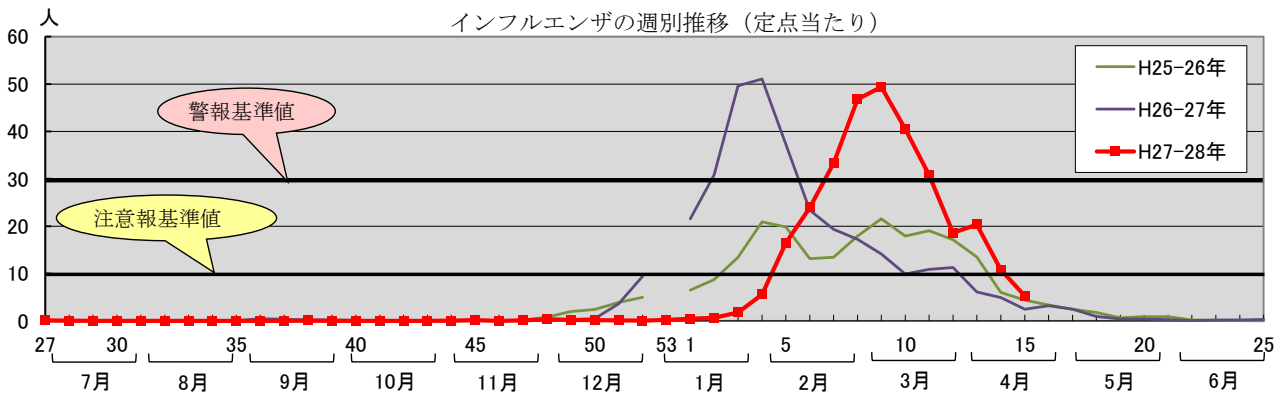
○**感染性胃腸炎** 第15週：4.53 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.53 (前週：5.33) とほぼ横ばいです。地域別にみると、須崎 12.00 (前週：4.50)、中央西 7.67 (前週：6.00) で増加し、須崎では注意報値を超えています。



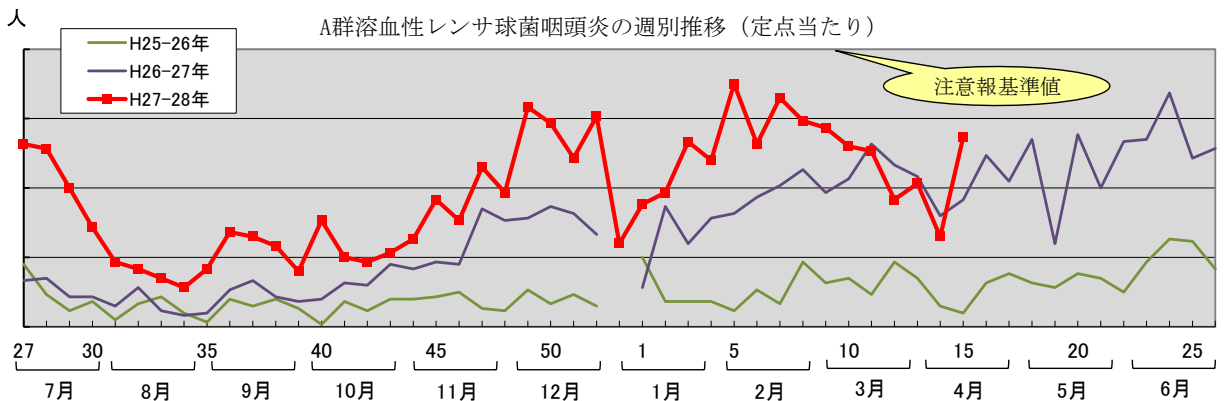
○**インフルエンザ** 第15週：5.25 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.25 (前週：10.79) と急減しています。安芸 4.00(前週：3.25) で増加しています。



○**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎** 第15週：2.73 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.73 (前週：1.30) と急増しています。地域別にみると、幡多 3.40 (前週：1.20)、高知市 3.09 (前週：1.64)、中央東 2.86 (前週：1.14)、中央西 2.67 (前週：2.00)、安芸 1.50(前週：0.00)で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
15	インフルエンザ	64	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
15	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Norovirus GII NT
15	感染性胃腸炎	8	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	急性細気管支炎	7ヶ月	女	中央東	Rhinovirus
13	不明熱	1	女	須崎	Rhinovirus
13	感染性胃腸炎	1	女	高知市	Rotavirus group A G2
13	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Rotavirus group A G2
14	インフルエンザ	61	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
14	インフルエンザ	9	女	高知市	Influenza virus B/Yamagata
14	インフルエンザ	52	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata
14	インフルエンザ	5	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata

★全数把握感染症

第15週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	32	90歳代女	須崎
		1	33	50歳代男	安芸
		1	34	40歳代男	高知市
4類	日本紅斑熱	1	3	80歳代男	幡多
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	70歳代男	高知市
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	80歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ9例 A型1例 B型8例
		RSウイルス感染症1例（8ヶ月）
		ロタウイルス胃腸炎7例（2歳、3歳、8歳、36歳2人、63歳、87歳）
		h MPV感染症4例（10ヶ月、1歳、3歳、7歳）
	おひさまこどもクリニック	溶連菌14例（内4～5歳児が11例）
野市中央病院小児科	インフルエンザ B型1例 ワクチン接種2回済み（2歳男）	
早明浦病院小児科	インフルエンザ B型6例	
高知市	けら小児科・アレルギー科	ロタウイルス腸炎7例（1歳女、2歳女2人、3歳男、4歳男女、6歳女）
		マイコプラズマ肺炎6例（3歳男2人、7歳男、12歳女、40歳女、44歳女）
		アデノウイルス扁桃炎2例（1歳男女）
		h MPV肺炎1例（3歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症1例（1歳男）
		インフルエンザ A型0例 B型10例 予防接種済み2例
		溶連菌感染症9例 胃腸炎が増えてきている
	細木病院小児科	ロタ8例（11ヶ月男、1歳男3人、2歳女、3歳男女、5歳女）
		ノロ1例（5歳女）
		キャンピロ1例（6歳男）
	高知医療センター小児科	カンピロバクター1例（10歳男）
		病原性大腸菌1例（0ヶ月男）
		A群レンサ球菌1例（4歳女）
アデノウイルス1例（1歳男）		
ロタウイルス1例（1歳女）		
中央西	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎2例（2歳男、3歳女）
	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（4歳女）
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例（2歳女）
		感染性胃腸炎ロタ陽性2例
		h MPV肺炎2例（1歳）
幡多	さたけ小児科	インフルエンザ14例 全てB型
	幡多けんみん病院小児科	h MPV陽性5例（10ヶ月男、1歳男3人、2歳女）

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年4月5日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年4月8日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）（ジカウイルス感染症に関するQ&A、流行地域など）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

★全国情報

第13週 (3月28日～4月3日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核359例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症7例

4類感染症：E型肝炎8例、A型肝炎8例、重症熱性血小板減少症候群2例、チクングニア熱1例、
つつが虫病1例、デング熱12例、マラリア1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、
急性脳炎11例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群13例、ジアルジア症4例
侵襲性インフルエンザ菌感染症8例、侵襲性肺炎球菌感染症49例、
水痘（入院例に限る）4例、梅毒55例、播種性クリプトコックス症3例、破傷風2例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、麻しん1例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎7例、つつが虫病1例、デング熱1例、レジオネラ症3例、

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎15例、

劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒31例、

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、薬剤耐性アシネトバクター感染症3例

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第15週 平成28年4月11日(月)～平成28年4月17日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第15週					計	前週	全国(14週)	高知県(15週末累計)		全国(14週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/4/17	
インフルエンザ	インフルエンザ		16	59	70	26	18	63	252 (5.25)	518 (10.79)	34,672 (7.02)	14,619 (304.56)	1,508,204 (304.63)
小児科	咽頭結膜熱				7			1	8 (0.27)	1 (0.03)	716 (0.23)	40 (1.33)	14,755 (4.67)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	20	34	8		17	82 (2.73)	39 (1.30)	5,820 (1.85)	1,113 (37.10)	122,320 (38.73)
	感染性胃腸炎		4	32	46	23	24	7	136 (4.53)	160 (5.33)	16,861 (5.35)	3,011 (100.37)	294,351 (93.21)
	水痘								()	8 (0.27)	1,086 (0.34)	106 (3.53)	18,153 (5.75)
	手足口病				1				1 (0.03)	3 (0.10)	74 (0.02)	11 (0.37)	1,363 (0.43)
	伝染性紅斑		1		1	2	1		5 (0.17)	4 (0.13)	1,061 (0.34)	88 (2.93)	23,606 (7.47)
	突発性発疹		1	4	3	1		1	10 (0.33)	10 (0.33)	1,413 (0.45)	121 (4.03)	16,900 (5.35)
	百日咳								()	4 (0.13)	46 (0.01)	25 (0.83)	549 (0.17)
	ヘルパンギーナ			6					6 (0.20)	()	68 (0.02)	9 (0.30)	650 (0.21)
	流行性耳下腺炎			1	7	4	2		14 (0.47)	10 (0.33)	2,568 (0.81)	234 (7.80)	36,949 (11.70)
	RSウイルス感染症			4	10				15	29 (0.97)	15 (0.50)	456 (0.14)	530 (17.67)
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	13 (0.02)	()	114 (0.17)
	流行性角結膜炎								()	2 (0.67)	395 (0.57)	5 (1.67)	6,017 (8.75)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	14 (0.03)	()	111 (0.23)
	無菌性髄膜炎								()	()	20 (0.04)	2 (0.25)	237 (0.50)
	マイコプラズマ肺炎			1					2 (0.25)	4 (0.50)	156 (0.33)	63 (7.88)	3,514 (7.41)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 (0.13)	1 (0.13)	6 (0.01)	23 (2.88)	128 (0.27)
	感染性胃腸炎				9			3	12 (1.50)	13 (1.63)	319 (0.68)	205 (25.63)	2,919 (6.16)
計 (小児科定点当たり人数)		25 (8.50)	127 (14.93)	190 (14.29)	64 (17.87)	45 (18.00)	107 (16.08)	558 (14.95)			65,764	20,205 (480.82)	2,070,449
前週 (小児科定点当たり人数)		26 (9.75)	165 (17.75)	293 (20.38)	83 (20.73)	64 (20.00)	161 (22.13)		779 (19.24)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第15週					計	前週	全国(14週)	高知県(15週末累計)		全国(14週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/4/17	
インフルエンザ	インフルエンザ		4.00	5.36	4.38	5.20	4.50	7.88	5.25	10.79	7.02	304.56	304.63
小児科	咽頭結膜熱				0.64			0.20	0.27	0.03	0.23	1.33	4.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.50	2.86	3.09	2.67		3.40	2.73	1.30	1.85	37.10	38.73
	感染性胃腸炎		2.00	4.57	4.18	7.67	12.00	1.40	4.53	5.33	5.35	100.37	93.21
	水痘									0.27	0.34	3.53	5.75
	手足口病				0.09				0.03	0.10	0.02	0.37	0.43
	伝染性紅斑		0.50		0.09	0.67	0.50		0.17	0.13	0.34	2.93	7.47
	突発性発疹		0.50	0.57	0.27	0.33		0.20	0.33	0.33	0.45	4.03	5.35
	百日咳									0.13	0.01	0.83	0.17
	ヘルパンギーナ			0.86					0.20		0.02	0.30	0.21
	流行性耳下腺炎			0.14	0.64	1.33	1.00		0.47	0.33	0.81	7.80	11.70
	RSウイルス感染症			0.57	0.91			3.00	0.97	0.50	0.14	17.67	6.21
眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.17
	流行性角結膜炎								0.67	0.57	1.67	8.75	
基幹	細菌性髄膜炎										0.03		0.23
	無菌性髄膜炎										0.04	0.25	0.50
	マイコプラズマ肺炎			1.00	0.20				0.25	0.50	0.33	7.88	7.41
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13	0.13	0.01	2.88	0.27
	感染性胃腸炎				1.80			3.00	1.50	1.63	0.68	25.63	6.16
計 (小児科定点当たり人数)		8.50	14.93	14.29	17.87	18.00	16.08	14.95			480.82		
前週 (小児科定点当たり人数)		9.75	17.75	20.38	20.73	20.00	22.13		19.24				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869